



決算説明資料

2022年3月期 第1四半期

株式会社 エスクリ



2022年3月期1Qサマリ

政府・自治体の要請に基づきながら挙式・披露宴を実施 施行件数の増加により増収、損失幅縮小

売上高 52.1億円（前期比493.5%）

営業損失 5.9億円（前期は15.8億円の損失）

1Q時点では、緊急事態宣言が再発令・期間延長。

売上は想定より減少の一方、コストコントロールにより、利益面は概ね想定どおり着地。

受注残件数の状況

2021年6月末時点の受注残件数は5,036件（2020年6月末比86.4%）

新型コロナウイルス対応（決算面）



資金調達状況

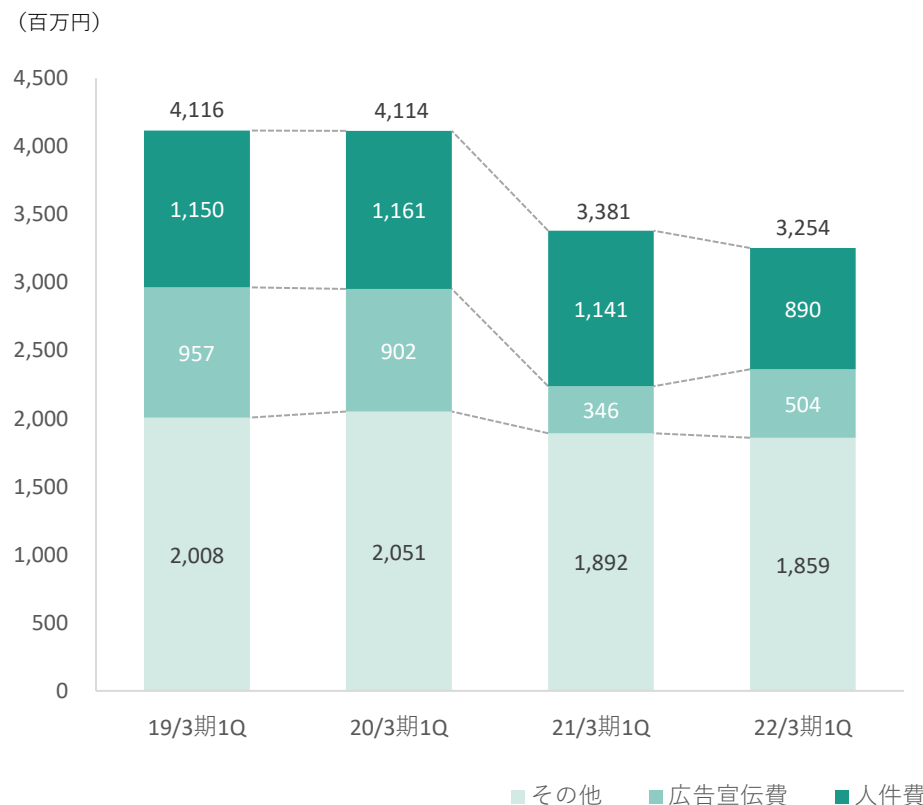
前期	金融機関からの借入（短期分&長期分）	54億円	▶	当面の運転資金を確保
	コミットメントライン契約締結	極度金額 60億円	▶	運転資金、対外的な信用力確保
	SBIホールディングスとの資本業務提携 第三者割当による新株式発行	6億円	▶	自己資本の毀損に対応
	三井住友ファイナンス&リースに対する 第三者割当増資による優先株式発行	30億円	▶	更なる自己資本の増強、 財務基盤の強化
当期	2021年4月～5月 金融機関からの借入（短期分延長）	16億円	▶	コロナ影響長期化に備え 資金及び調達枠を確保
	2021年6月 コミットメントライン契約締結（延長）	極度金額 60億円		

当座貸越契約・コミットメントライン契約の未実行残高は54億円

現金及び預金は39億円と、十分な手元資金を確保

コスト削減

コロナ前と比較すると約20%減少。引き続きコストコントロールを徹底。



人件費

- ・ 残業抑制、休業

※21/3期1Q：特別損失6.6億円を含めて集計

広告宣伝費

- ・ 媒体の出稿量コントロール

その他

- ・ 家賃の減額交渉
- ・ 本社オフィス縮小

※21/3期1Q：特別損失9.7億円を含めて集計

2022年3月期
第1四半期決算の概要

連結損益計算書の概要



単位：百万円	2021/3期 1Q実績	2022/3期 1Q実績	前期比 増減率	2022/3期 計画	計画 進捗率
売上高	879	5,219	493.5%	26,836	19.4%
売上原価	731	2,554	249.3%	12,230	20.9%
(原価率)	83.2%	48.9%	-	45.6%	-
売上総利益	147	2,664	1701.8%	14,606	18.2%
販売管理費	1,733	3,254	87.7%	13,976	23.3%
営業利益	△ 1,585	△ 590	-	630	-
(利益率)	-	-	-	2.3%	-
経常利益	△ 1,597	△ 554	-	467	-
当期純利益	△ 1,877	412	-	300	137.3%

売上

施設を臨時休業した前期と比較して施行件数が増加したことにより増収

コロナ前（20/3期）比較で67%まで回復

損益

営業損失 **5.9億**

コストコントロールを徹底

- ・ 広告宣伝費の削減（出稿量コントロール）
- ・ 人件費の抑制（残業抑制、休業等）
- ・ 家賃の減額交渉

雇用調整助成金（営業外収益） **1.0億**

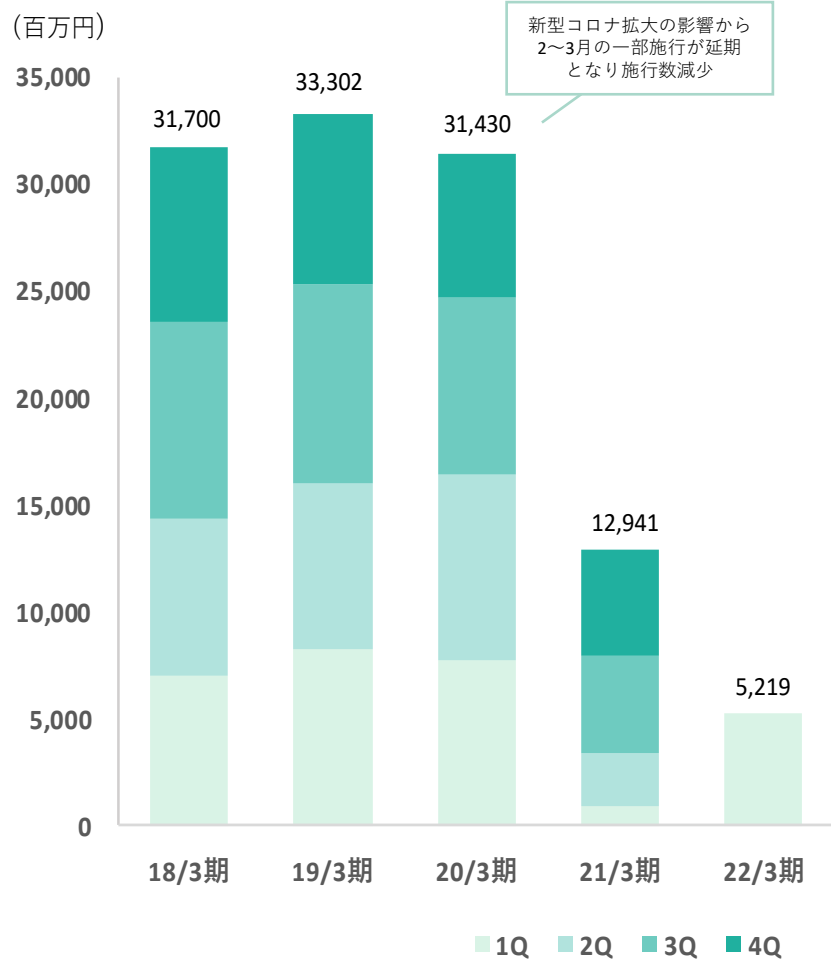
法人税等調整額 **9.9億**

EMP合併による再評価の影響有

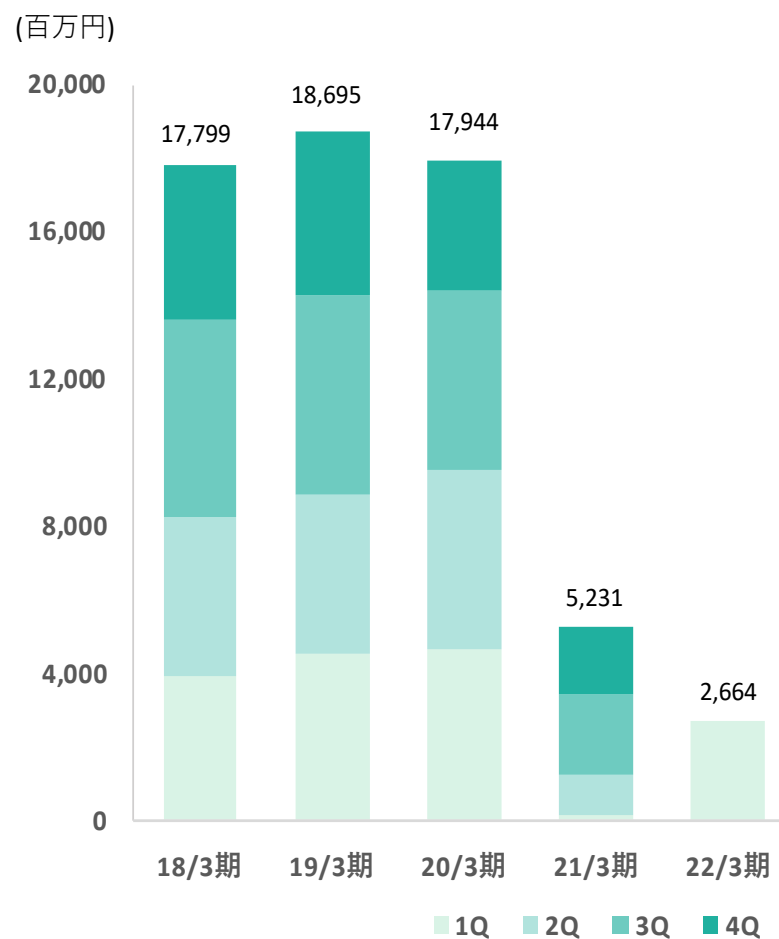
連結業績推移①



連結売上高の推移（四半期毎）



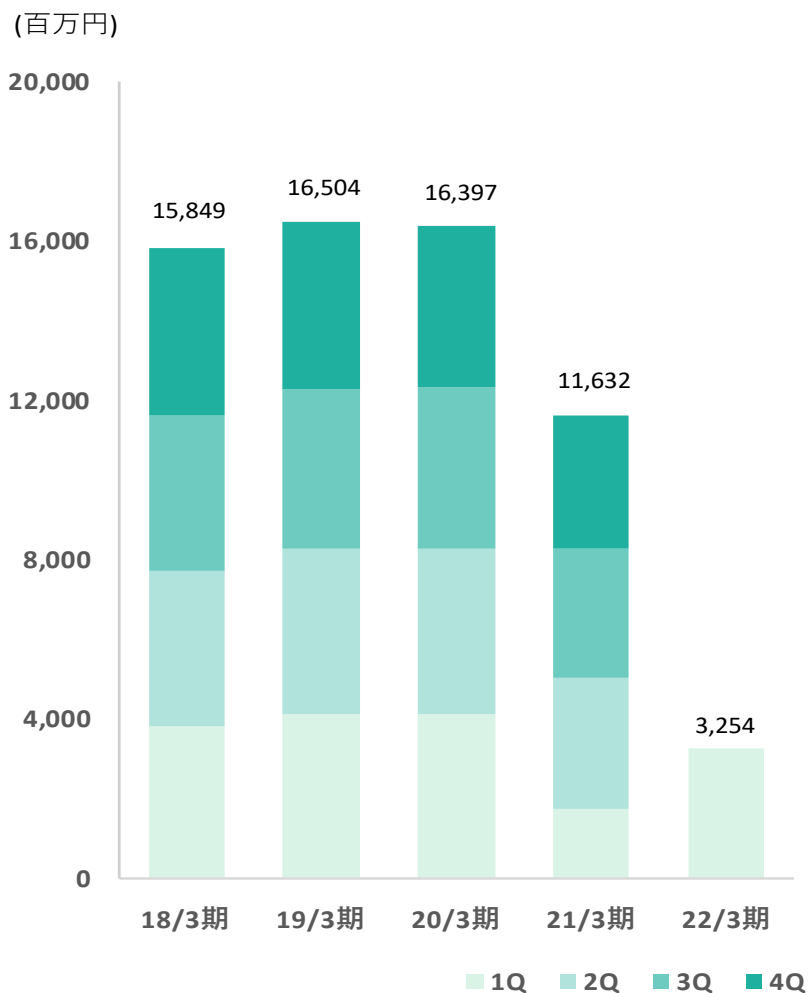
売上総利益の推移（四半期毎）



連結業績推移②



販管費の推移（四半期毎）



営業利益の推移（四半期毎）



セグメント別業績の概要



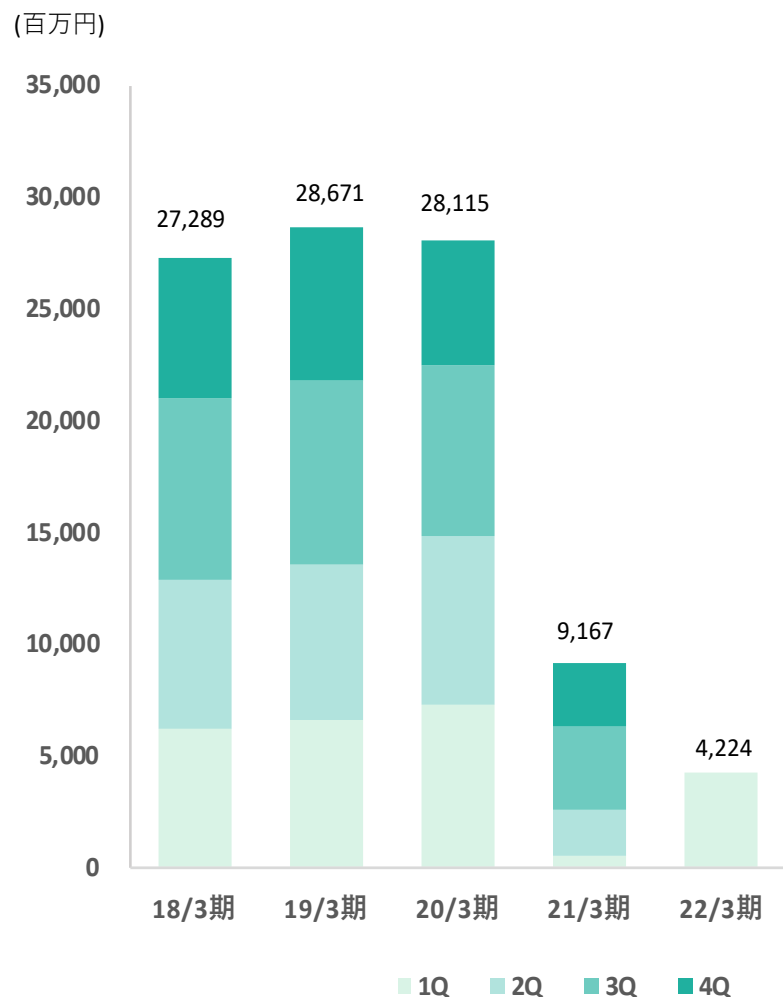
単位：百万円	2021/3期 1Q実績	2022/3期 1Q実績	増減	前期比 増減率
売上高	879	5,219	4,339	493.5%
ブライダル	455	4,224	3,769	828.1%
建築不動産	424	994	570	134.5%
営業利益	△1,585	△590	995	—
ブライダル	△1,420	△357	1,062	—
建築不動産	△69	11	81	—
調整額	△96	△244	△148	—

※セグメント売上高は外部顧客への売上高（セグメント間の内部売上・振替高を含まない）

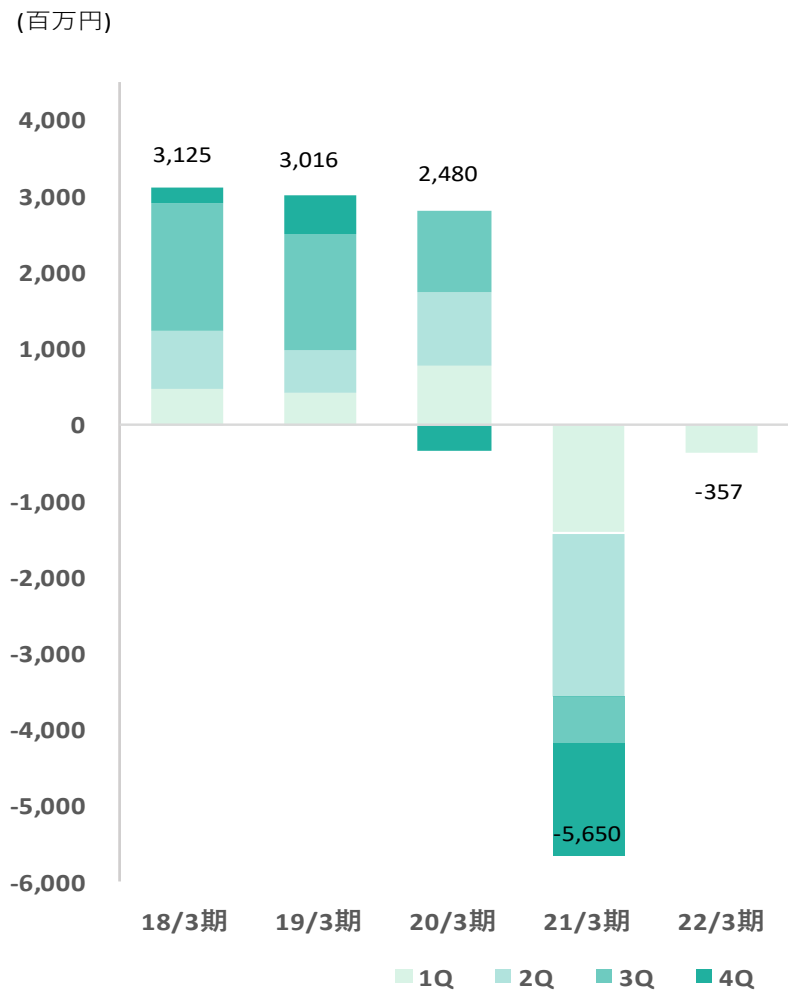
ブライダル関連事業の状況



セグメント売上高推移（四半期毎）



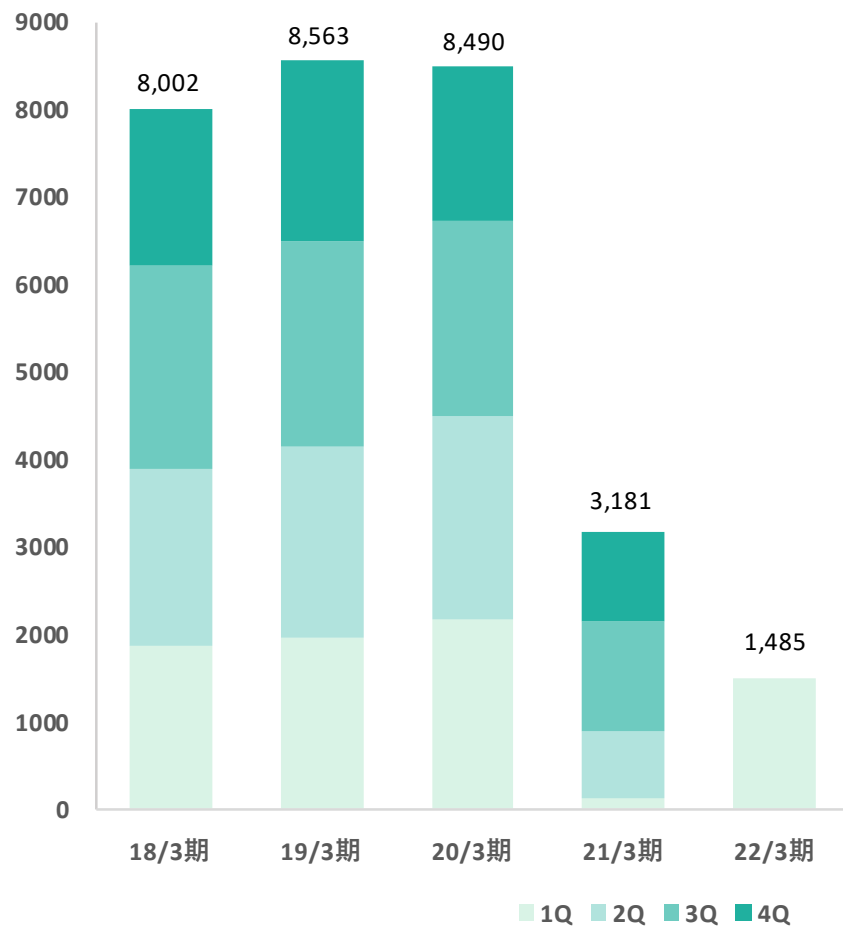
セグメント利益推移（四半期毎）



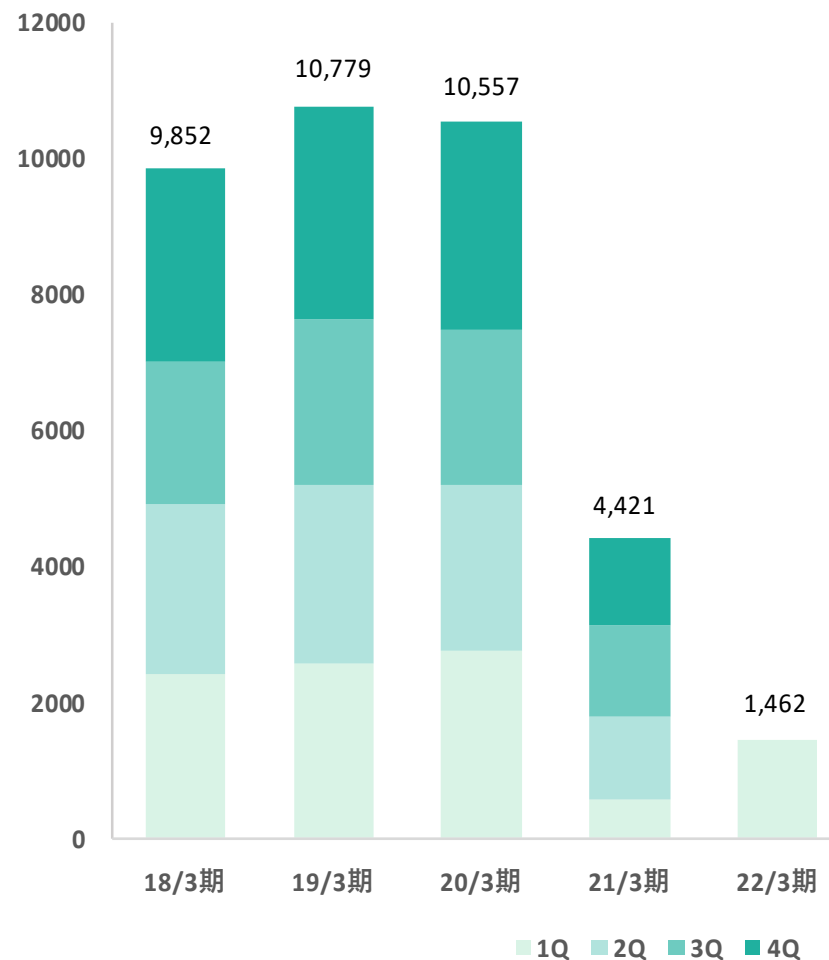
ブライダル関連事業の状況



施行件数推移（四半期毎）



受注件数推移（四半期毎）



連結貸借対照表に係る要点



単位：百万円	2021/3期 期末	2022/3期 1Q末	増減
資産合計	26,142	24,833	△ 1,309
流動資産	9,316	7,340	△ 1,975
(現金及び預金)	6,723	3,960	△ 2,762
固定資産	16,826	17,492	665
負債合計	20,577	18,842	△ 1,735
流動負債	12,054	10,878	△ 1,176
(借入金)	5,182	5,149	△ 32
固定負債	8,522	7,963	△ 559
(借入金及び社債)	5,389	4,853	△ 536
純資産合計	5,565	5,990	425
自己資本比率	21.3%	24.1%	-

資産

現金及び預金の減少 27.6億
 未成工事支出金の増加 3.8億
 繰延税金資産の増加 9.8億

負債

前受金の減少 28.4億
 長期借入金の減少 5.3億
 契約負債の増加 27.3億

※基準変更により、前受金→契約負債へ表示変更

純資産

当期純利益の計上 4.1億

財務状況の推移



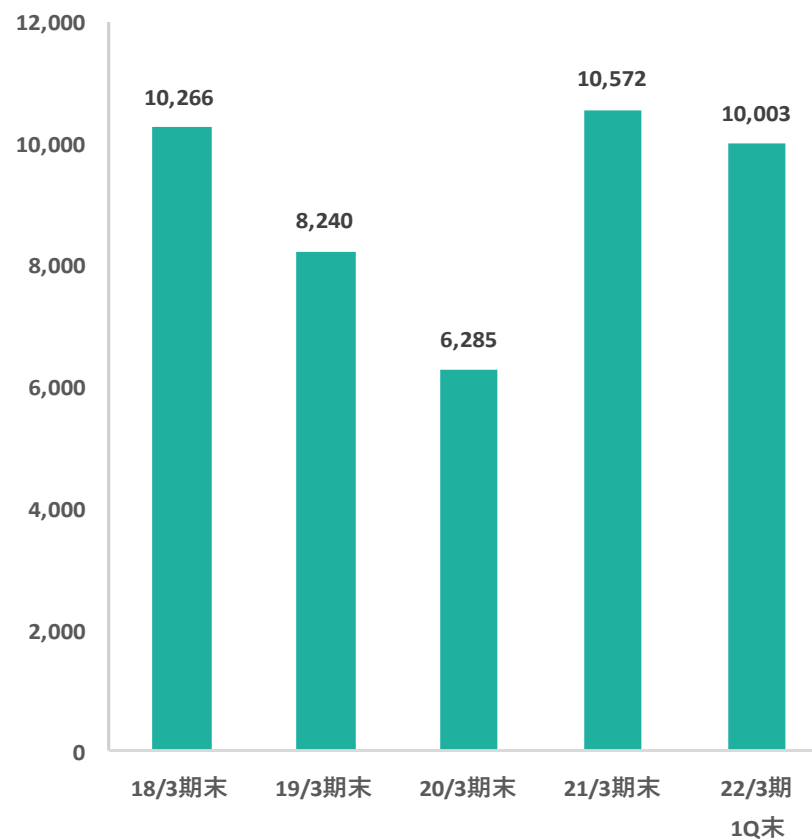
総資産・純資産・自己資本比率の推移

(百万円)



有利子負債の推移

(百万円)



※有利子負債：短期借入金、1年以内返済予定の長期借入金、長期借入金、社債の合計額

2022年3月期 連結業績予想

- ・ 緊急事態宣言が再発令・期間延長と、新型コロナウイルス感染症による影響が想定より長期化。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の動向次第では、通期業績に影響を与える可能性有。

単位：百万円	2021/3期 実績	2022/3期 計画	前期比 増減率
売上高	12,941	26,836	107.4%
売上原価	7,709	12,230	58.7%
(原価率)	59.6%	45.6%	△23.5%
売上総利益	5,231	14,606	179.2%
販売管理費	11,632	13,976	20.2%
営業利益	△ 6,401	630	—
(利益率)	—	2.3%	—
経常利益	△ 6,684	467	—
当期純利益	△ 5,416	300	—

【予想策定の前提条件】

緊急事態宣言等の社会的な制約が解除され、ワクチン接種も広がり始め、徐々に受注状況が回復するものと想定。

- ・ 受注残 21/3月時点の残高を採用
- ・ 受注数 20/3期の8割弱
- ・ 単価 20/3期の9割弱
- ・ 販管費
 - 広告費 20/3期の7割弱
 - 固定費 21/3期大幅に削減した水準維持。
 - 変動費 売り上げに連動して増加。
- ・ 特別損益
 - 雇用調整助成金（特別利益）、
 - 特別損失は未考慮。

新型コロナウイルス関連施策

緊急事態宣言発令に伴う対応

現在発令されている緊急事態宣言において、結婚式場については休業要請対象外。
政府・自治体からの要請内容に基づいて結婚式を実施。

当社施設における緊急事態宣言下での対応

1. アルコール提供無（ノンアルコールドリンクを拡充して対応）
2. アクリルパーテーションの設置必須
3. 収容人数制限あり（収容率50 %以下、50 名以下を推奨）
4. 料理提供時間を1.5 時間以内 に短縮
5. カラオケや大声を出す余興等は無
6. 20 時までの閉宴を推奨
7. サーモセンサーでの全員検温
8. 全員検温確認

結婚式のLive配信サービスを開始

【自社開発】 結婚式専用のLive配信サービス「アニクリLive」をリリース

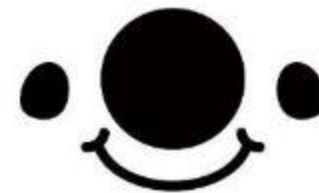
- ・招待されたゲストだけのプライベート配信
- ・チャット機能により、オンライン上でお祝いコメント送信が可能
- ・お祝いプレゼント機能があり、一部の贈り物は
挙式・披露宴にリアルタイムで届けることが可能
- ・オンライン参加のゲストへ“婚例会席重”の宅配サービスも実施



【提携】 ライブ配信アプリ「17LIVE（イチナナ）」を運営する

株式会社17 Media Japanと共同で、結婚式Live動画の配信サービスを開始

- ・視聴用の URL を事前配布する限定公開のサービス
- ・オンラインでプレゼント・祝電・お祝いコメントを贈ることが可能
- ・配信後 10 日間のアーカイブが可能のため、
予定が合わないゲストも後日視聴可能



17 Media Japan

WEBご祝儀システム「アニクリWEBご祝儀」をリリース

自社開発の結婚式準備サイト「アニクリ」に「WEBご祝儀」機能を追加。

- ・新郎新婦のメリット → ご祝儀総額アップ、ご祝儀は結婚式費用に充当可能
- ・ゲストのメリット → 新札、ご祝儀袋が不要、カード決済によるポイント
- ・感染対策 → ご祝儀の受け渡し不要

「アニクリLive」 & 「アニクリWebご祝儀」ウェディング専門の各メディアが注目！

▼ゼクシィ



▼ブライダル産業新聞



▼ウェディングパーク



▼ハナユメ



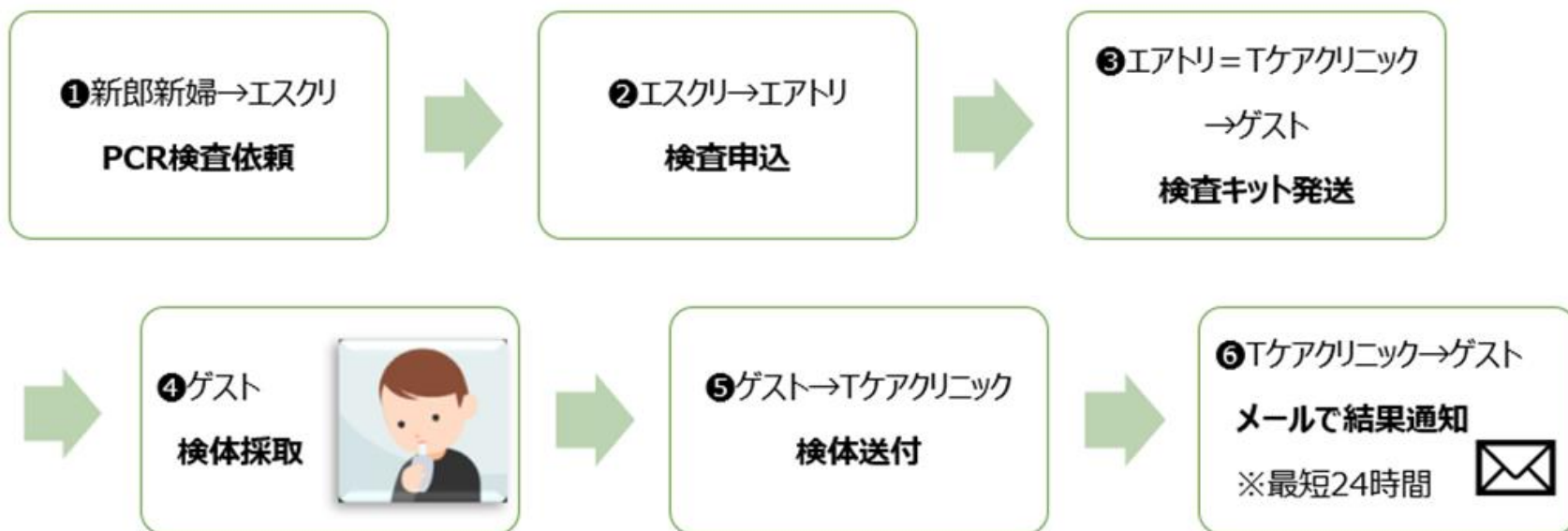
▼ウェディングジャーナル



国内大手旅行会社「エアトリ」と提携しPCR検査を導入

エアトリグループが提携するPCR指定医療機関である「Tケアクリニック」のPCR検査を導入、オプションサービスとして、当社で結婚式を実施予定の新郎新婦、参列ゲストへ本PCR検査を提供。

運用フロー



感染症拡大防止への取り組み

従業員の取り組み

- ・ お客様のご希望に合わせ、リモートによる打ち合わせを実施
- ・ 手洗いうがい、手指のアルコール消毒を徹底
- ・ ご案内時のマスク着用
- ・ 健康状態確認、検温の徹底
- ・ 従業員の在宅勤務および自宅研修を実施



お客様へのお願い

- ・ ご来館前の体調確認
- ・ 検温、マスクの着用、アルコールによる手指の消毒
- ・ 密集を避けるため来館のご予約制



新型コロナウイルス関連施策

感染症拡大防止への取り組み

館内衛生への取り組み

- ・ 館内共用部の消毒の強化
- ・ 館内の定期的な換気
- ・ 全施設に細菌・ウイルスを不活性化する空調フィルターを設置
- ・ オリジナルパーテーションの導入
- ・ サーモカメラの設置
- ・ ゆとりあるテーブルレイアウト



オリジナルのウェディングマスクを製作

結婚式に関わるコンテンツを内製化しているデザインノウハウと子会社である渋谷の生産背景を活かしオリジナルマスクを製作運営するECサイト「アニクリギフトストア」にて一般販売を開始



2022年3月期の取り組み

2022年3月期の取り組み

今期も新たなコラボレーションウェディングを開始

◆ワンピースブライダルフェア

(2021年5月 ご案内開始)



©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション

◆プリンセスブライダルフェア

(2021年7月公式サイトリニューアル)

Princess Bridal Fair

produced by ESCRIT



©Disney

「エイチームコネクト」ライフラインサービスのご案内を開始

～LTV（ライフタイムバリュー）の向上へ～

株式会社エイチームコネクトとの提携により
同社の扱うライフラインサービスの提供を開始しました。
電気・ガス・インターネット回線など固定費の見直しにより
新生活を豊かにできるお手伝いをいたします。



女性活躍推進「準なでしこ銘柄」に2年連続で選定

女性活躍推進施策（経営戦略への組み込み、環境やルールの整備、
管理職の意識改革等）が評価され、「なでしこ銘柄」に準ずる
企業として、昨年につづき「準なでしこ」に選定されました。



補足資料
会社概要

会社概要



商号	株式会社エスクリ
設立	2003年6月
本社所在地	〒105-0003 東京都港区西新橋2-14-1 興和西新橋ビルB棟
資本金	50百万円（2021年3月末現在）
上場市場	東京証券取引所市場第一部
上場日	2010年3月5日
取締役会長ファウンダー	岩本 博
代表取締役社長CEO	渋谷 守浩
従業員数	1,068名（2021年3月末現在）
事業内容	挙式・披露宴の企画・運営を行うブライダル事業
ホームページ	https://www.escrit.jp/
連結子会社	株式会社渋谷 ESCRIT HAWAII INC. 愛思禮婚禮股份有限公司

大都市を中心に33施設を運営

■福井県

グランシャリオ／シャルム・ド・ナチュール
セントミッシェル／アヴェール・ブランシェ

■富山県

ラ・ブランシュ富山

■石川県

ラグナヴェール KANAZAWA

■大阪府

ラグナヴェール PREMIER
ラグナヴェール OSAKA

■兵庫県

ア・ラ・モード・パレ&ザリゾート
ラヴィマーナ神戸

■広島県

ラグナヴェール広島

■福岡県

アルマリアン FUKUOKA

■徳島県

渭水祥雲閣

■大分県

ラフィネ・マリアージュ迎賓館

■沖縄県

セントレジェンダ OKINAWA

■宮城県

ラグナヴェール SENDAI

■栃木県

ラ・ポルト
ザ・ライブラリー

■埼玉県

ラグナヴェール Sky Terrace

■東京都

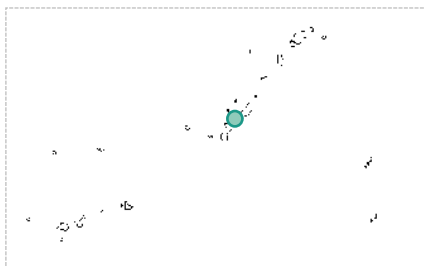
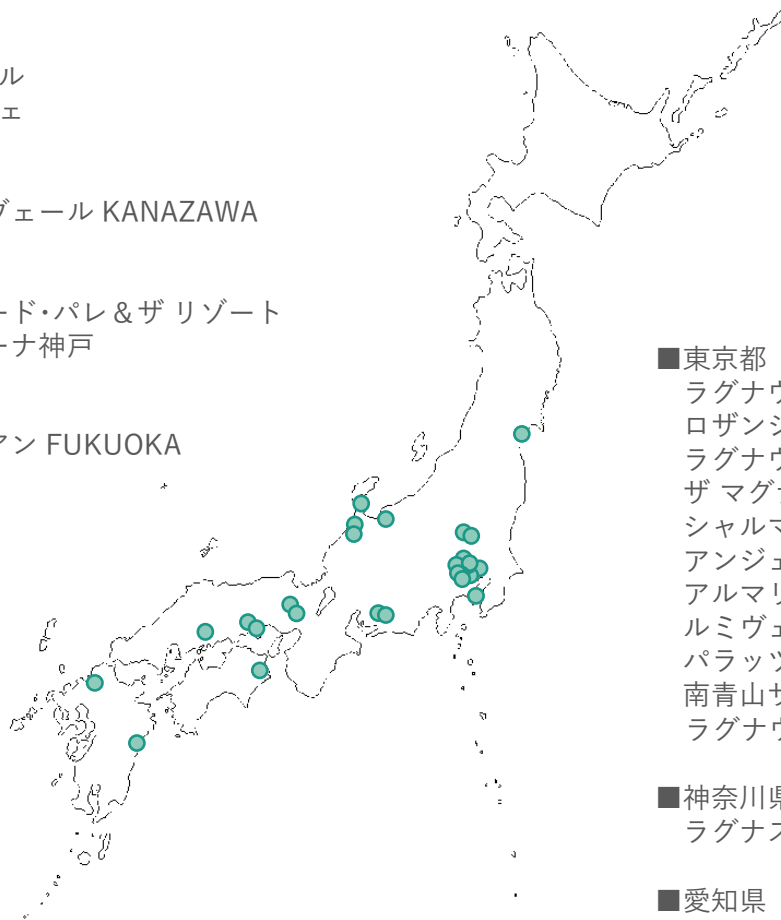
ラグナヴェール AOYAMA
ロザンジュイア広尾迎賓館
ラグナヴェール TOKYO
ザ マグナス TOKYO
シャルマンシーナ TOKYO
アンジェリオン オ プラザ TOKYO
アルマリアン TOKYO
ルミヴェール TOKYO
パラッツォドゥカーレ麻布
南青山サンタキアラ教会
ラグナヴェールアトリエ

■神奈川県

ラグナスイート新横浜 ホテル&ウェディング

■愛知県

ラグナスイート名古屋 ホテル&ウェディング
ラグナヴェール NAGOYA



社名の由来 “Staff Create”

人財力をコアバリューとし、多様なスタッフが能力や専門性を最大限発揮して、高収益のビジネスモデルを構築。この業界を勝ち残っていきたいという想い。

エスクリのビジョン “Faithful Bridal Creator”

エスクリが創っていくのは、真摯で、信頼できるブライダル。
ハードに頼らず、ソフトの力を信じ、ビジネスの本質を、真摯につきつめる。
信頼できるスタッフ、信頼できる商品、信頼できるチームで、顧客の期待を超えていく。
顧客、社員、会社の満足を、大きく広げ、世の中に新しい価値を示すことで、
真摯なブライダルビジネスを、創りたい。
新郎新婦に関わるすべての人からの「おめでとう」と、
新郎新婦からの「ありがとう」であふれた、
記憶に残る結婚式を、創りたい。
それが、私たちの誇りであり、喜びなのです。

エスクリのミッション “CHANGE Bridal”

良い文化は継承し、新しい文化を取り入れつづけることで

結婚式があふれる世の中に

<取り組み事例>

- ブライダル専門コールセンターの立ち上げ
- 内製化（ワンストップサービス）の取り組み
- ビルイン結婚式場
- 異業種とのコラボレーション
- 年間休日130日を実現、施設内託児所設置 etc.



ウェディングコンセプト “All for Thankyou”

挙式当日の会場は、新郎新婦様から親御様やご友人など大切な方へのさまざまな「ありがとう」で包まれます。エスクリでは、おふたりの「ありがとう」の想いを受け、すべてのスタッフがチームとなって新郎新婦様の結婚式を創ります。

補足資料
市場動向

2020年 婚姻組数

約52万組

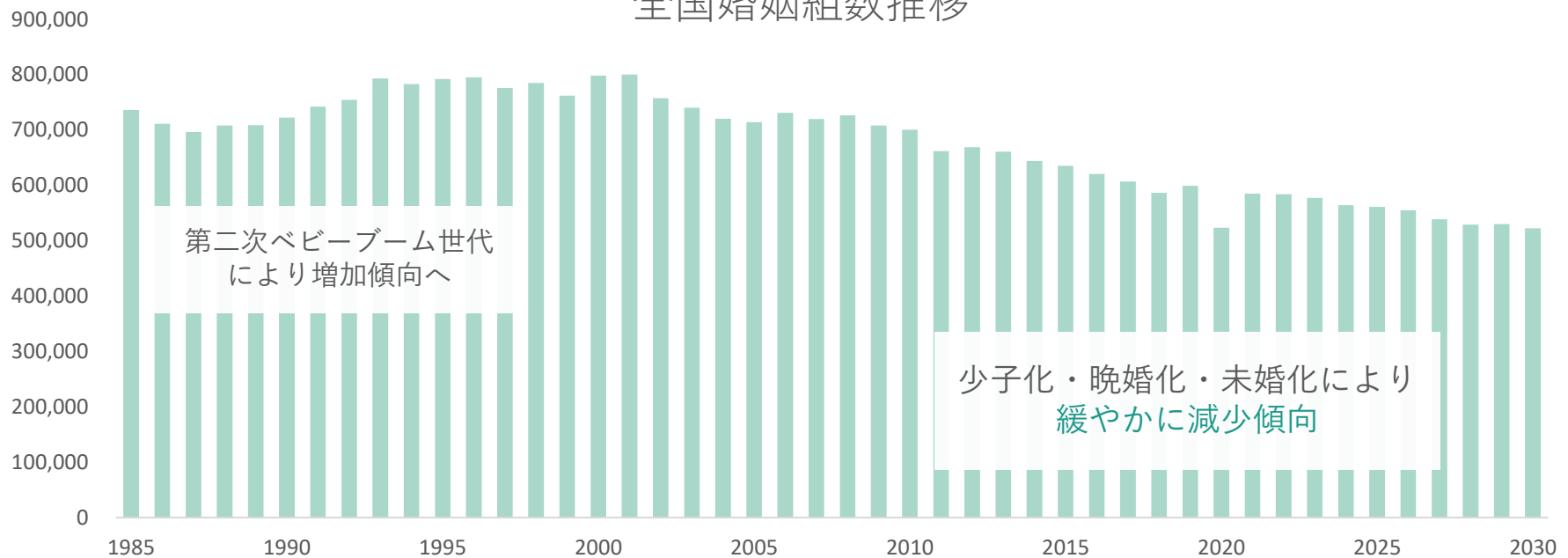
※コロナ影響により昨年比7.3万組減

2020年 婚姻率

4.3%

※コロナ影響により昨年比0.5%減

全国婚姻組数推移

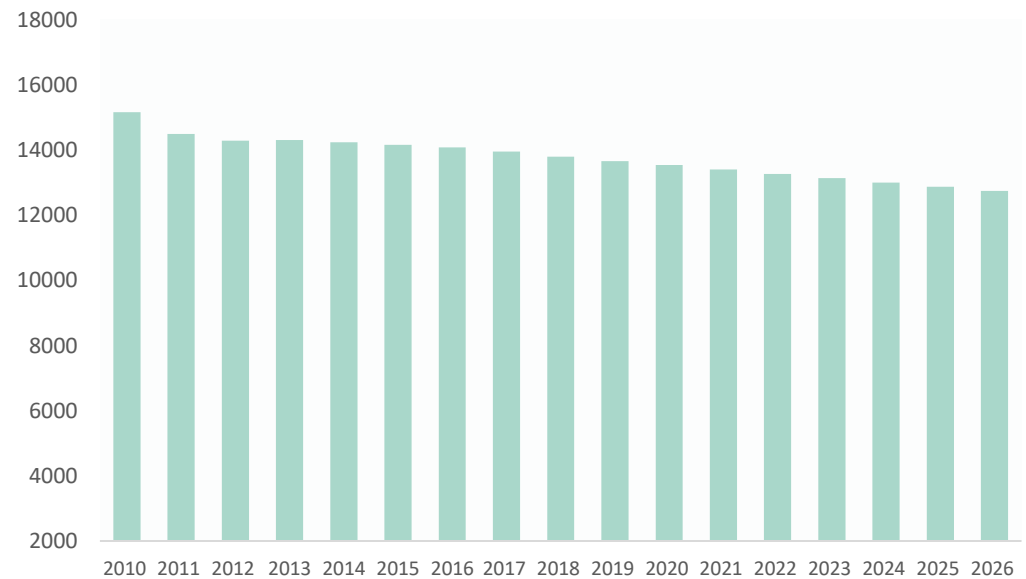


挙式・披露宴市場規模

約1.36兆円

※2020年は新型コロナ影響により
約0.57兆円となる見込み

市場規模推移



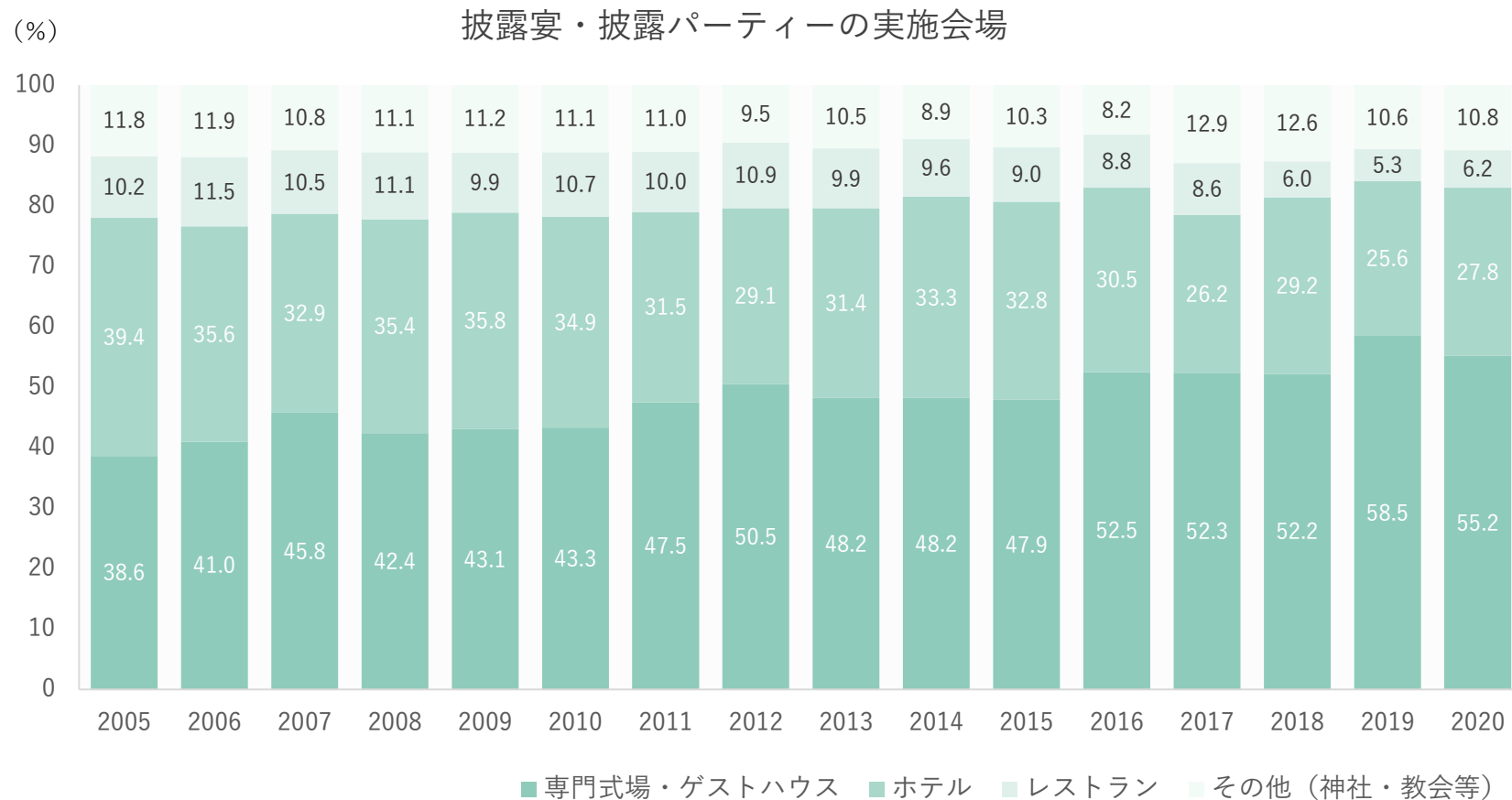
人口減少とともに市場規模は徐々に縮小する見込み

今後10年は市場規模1兆円強を予想

市場動向 タイプ別シェア推移



ホテル婚シェアが徐々に減少
専門式場・ゲストハウスが右肩上がりに



市場動向 ブライダル業界の市場シェア

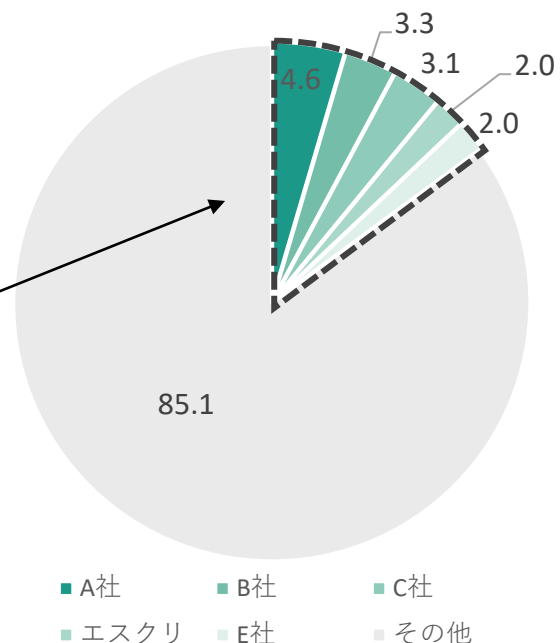


ブライダル業界売上高
上位5社が市場に占める割合

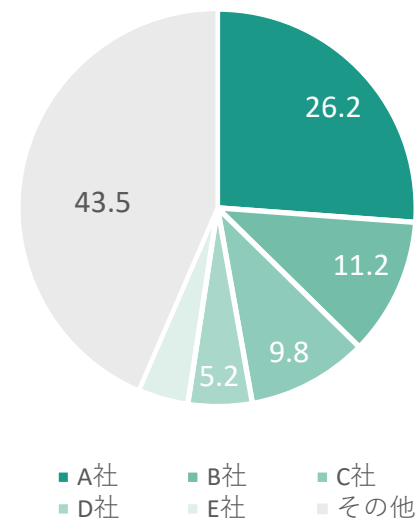
14.9%

※上場企業上位5社の売上高合計

(出典：2019年版 ブライダル産業年鑑、
各社ホームページ)



ファミリーレストラン市場 56.5%
※ブライダル業界と市場規模が近いため比較対象とする



ブライダル業界は他業界と比較して圧倒的シェアを持つガリバー企業が不在
→シェア拡大の余地有り

補足資料
エスクリの特徴

Escrit

事業

エスクリの強み



独自の出店戦略による店舗拡大と

他社とのアライアンスにより、成長し続けてきた

独自の出店戦略

1. 都市型出店
2. ビルイン施設

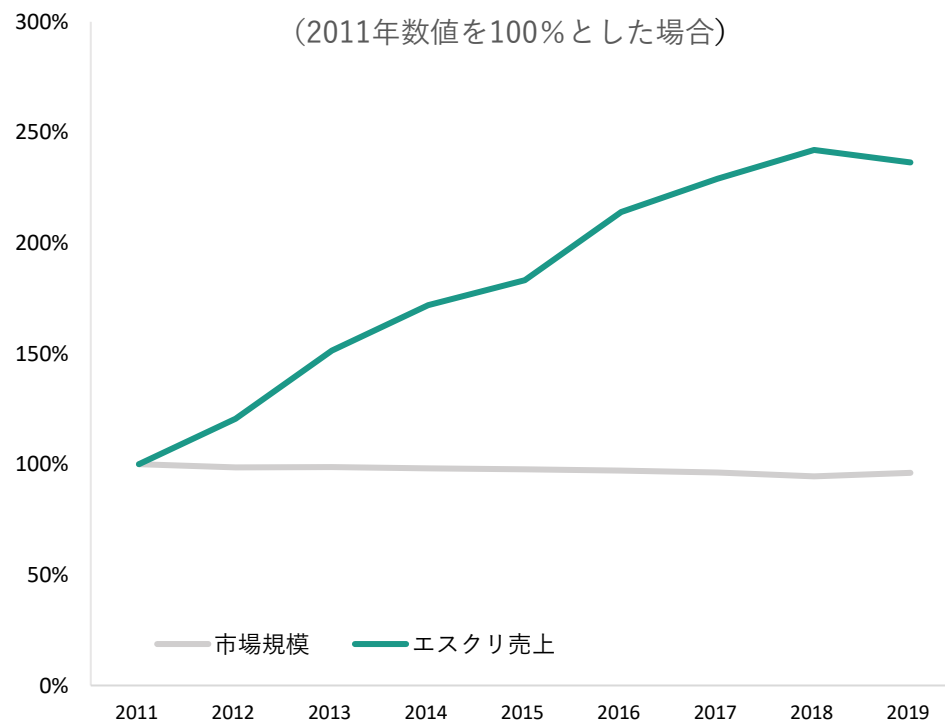
×

他社とのアライアンス

1. M&A・資本業務提携
2. コラボレーション

市場規模推移 vs エスクリ売上推移

(2011年数値を100%とした場合)



※出典：2021年版ブライダル産業年鑑、ブライダル産業年鑑2018年版

Escrit

出店

都市に特化した立地戦略×ビルイン出店により継続的な出店に成功

1. 都市型出店

市場縮小リスク・顧客ニーズに対応

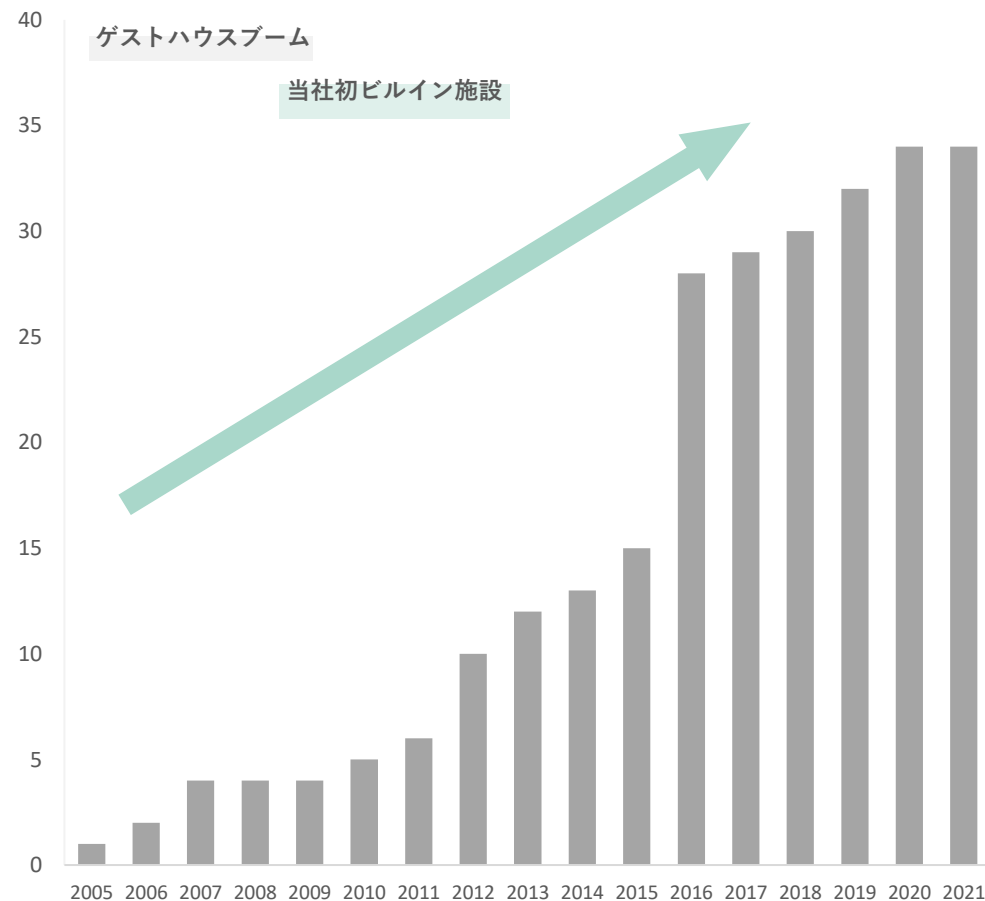


2. ビルイン施設

大都市への出店が可能



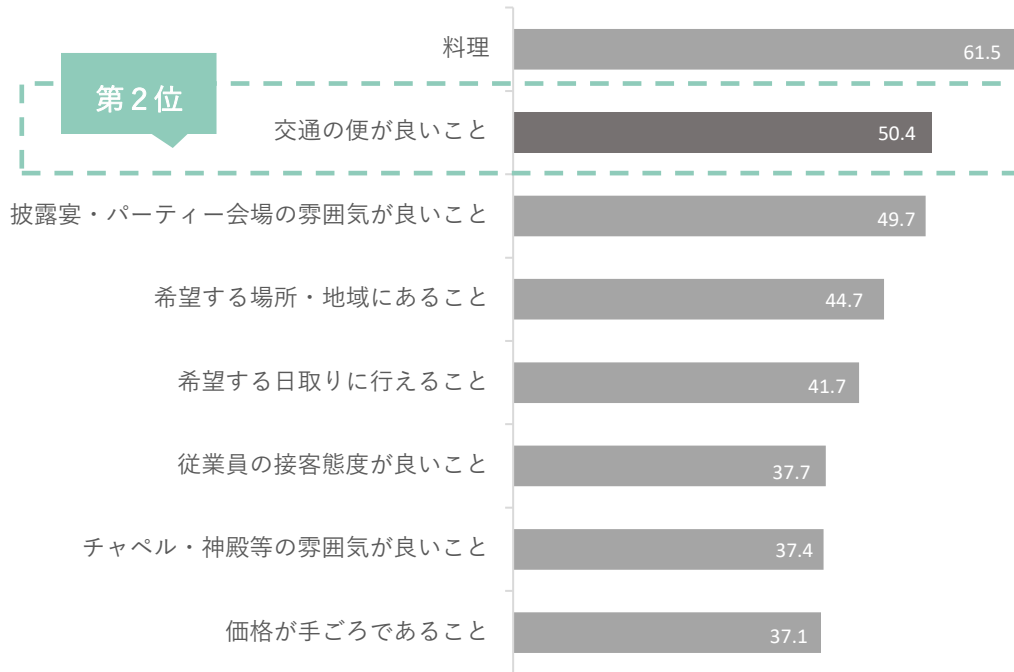
当社施設数推移



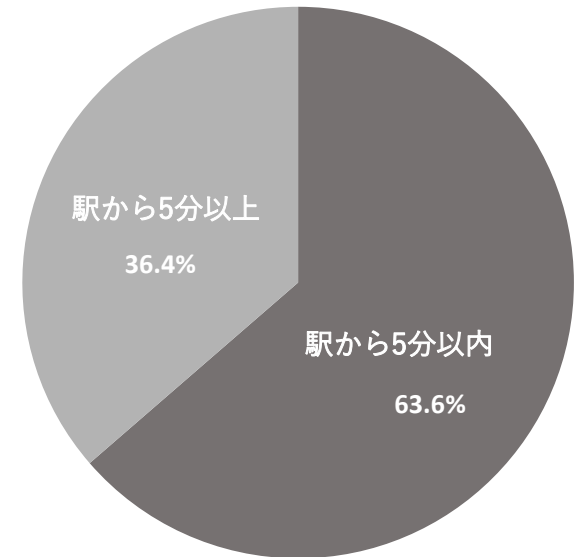
出店1. 都市型出店

顧客ニーズに寄り添う好立地戦略

カップルが挙式・披露宴会場の決定時に重視する点



最寄駅からのアクセス (当社国内33施設)



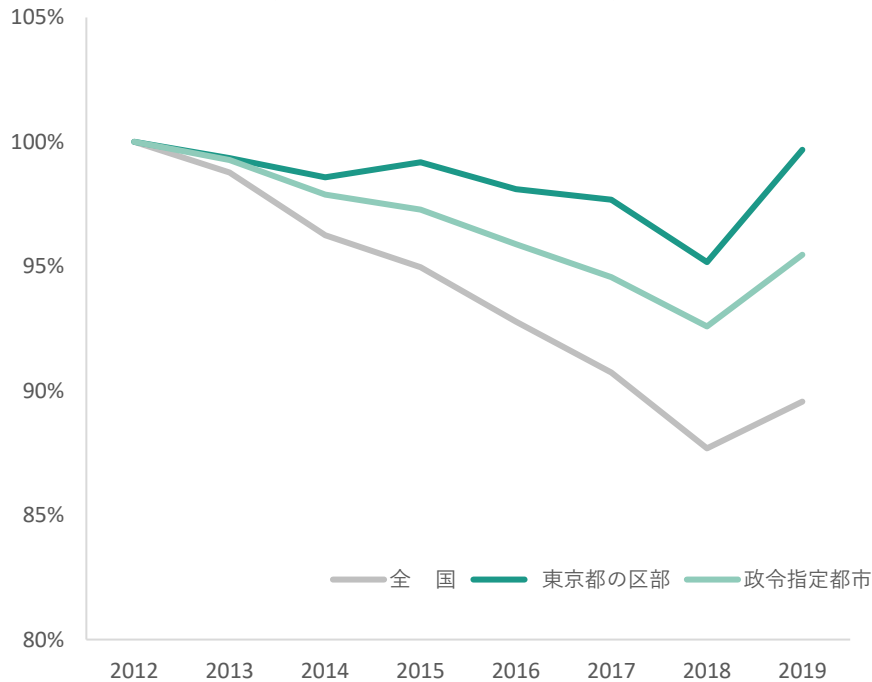
出典：ゼクシィ結婚トレンド調査2020

会場を決定するうえで、半数以上の顧客が「交通の便の良さ」を重視している
当社はアクセスの良さにこだわり駅近に多くの会場を展開

出店1. 都市型出店

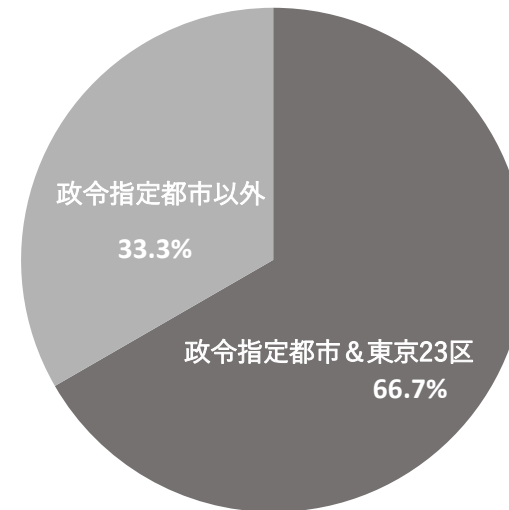
都市部への出店により 市場規模縮小リスクに対応

婚姻件数 増減率比較
(2012年を100%とする場合)



出典：厚生労働省「人口動態総覧」

当社出店エリア
(当社国内33施設)



東京23区	11
横浜市	1
さいたま市	1
仙台市	1
名古屋市	2
金沢市	1
大阪市	2
神戸市	2
広島市	1
福岡市	1
上記以外	10

東京都区部・政令指定都市は婚姻件数の減少が緩やか
当社は都市部を中心に展開することで市場規模縮小の影響を抑制

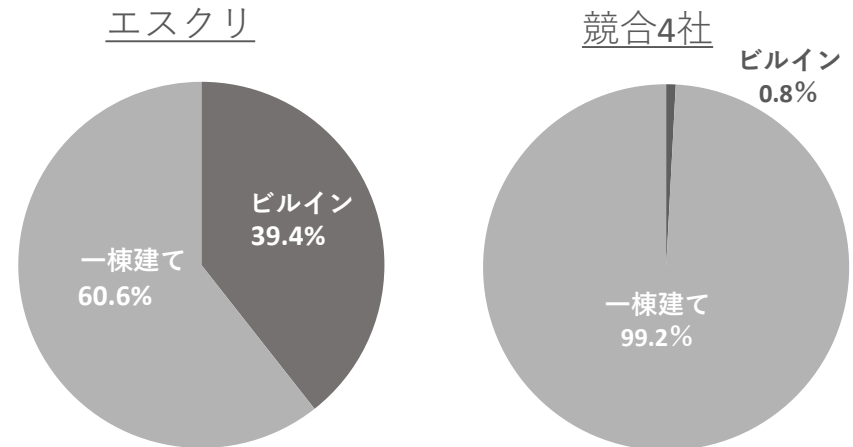
出店2. ビルイン施設

ビルインでの店舗展開により好立地出店が可能に

- ・ 駅至近での出店が可能
- ・ 当社施設の約4割がビルイン
 大手競合4社の119施設のうち、ビルインタイプは1施設のみ
- ・ 当社はビルインでの出店、オペレーションノウハウを蓄積



施設スタイル比較



アライアンス

資本業務提携

SBIホールディングスとの資本業務提携

Afterコロナでの収益力向上、中長期的な成長に寄与

- ・ CRM施策推進
- ・ ALAの販売
- ・ M&A戦略における連携



ティーケーピーとの資本業務提携

With/Afterコロナ時代の新しい価値創出、収益力の向上を目指す

- ・ 当社婚礼施設の平日空き枠を販売
- ・ ティーケーピー施設の出店・工事等を受託
- ・ withコロナビジネス協同開発



マイレージクラブ提携

ANAマイレージクラブとの提携

結婚式総額に応じてANAマイルもしくはANA SKY コインを贈呈

JALマイレージクラブとの提携

結婚式総額に応じてJALマイルを贈呈



異業種コラボによるWithコロナ施策

17MediaJapanとの提携

結婚式Live配信サービスを共同で開始



17 Media Japan

多数のアライアンス実績



大手企業、有名キャラクターと多数のアライアンス実績 = 当社のブランド力・信用

2015	ディズニー	ディズニー映画「シンデレラ」公開記念ブライダルフェア
2016	ANA	ANAマイレージクラブと提携
	ディズニー	ディズニー映画「アリス・イン・ワンダーランド／時間の旅」公開記念 ブライダルフェア プリンセス・ブライダルフェア
	サンリオ	ハローキティ & ディアダニエルブライダルフェア
	ディズニー	ディズニー映画「美女と野獣」公開記念ブライダルフェア
	カプコン	モンスターハンターブライダルフェア
2018	JAL	結婚式費用をJALマイルに交換
2019	サマンサタバサ	サマンサウエディング
	サンリオ	コラボドレス（ハローキティブライダルフェア）
2020	サンエックス	リラックマブライダルフェア
	SBI	資本業務提携
	ティーケーピー	資本業務提携
	17 Media Japan	結婚式Live配信
	ティーケーピー	CIRQリリース

※上記は当社アライアンス実績の一部を抜粋したものです

アライアンス2. コラボレーションウェディング

有名キャラクターとのコラボレーションを数多く実施

プリンセスブライダルフェア



©Disney

ポケットモンスター
ブライダルフェア



©2021 Pokémon

リラックマブライダルフェア



©2020 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.

おそ松さんブライダルフェア



©赤塚不二夫／おそ松さん製作委員会

< 今期より新たに提携 >

ワンピースブライダルフェア (2021年5月 ご案内開始)



©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション



補足資料
建築不動産事業

株式会社 渋谷

SHIBUTANI&Co.

デザインハウス、リノベーション提案、リゾート開発
店舗・オフィス設計施工、世界各地の建材・古材販売など
お客様のご要望に応じた建築不動産に関するソリューションをご提案

無印良品の家



ユーマーマンション事業



土木事業



店舗設計・施工



SHIBUTANI & Co. 株式会社 渋谷

<http://www.shibutani-group.co.jp>

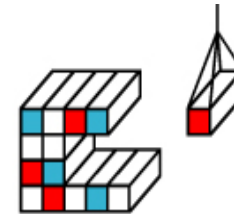
世界各地の建材・古材販売



コンテナ事業

オーダーメイドの建築用コンテナの企画・販売・施工
倉庫・トランクルーム・店舗・商業施設や住居向けのコンテナ
を製作・販売など、様々な用途に対応可能

- ①建築基準法に則ったJIS鋼材を使用
「日本の建築基準法に適合」
- ②ユニット建物特許法（特許第6029711号）取得
「上下ユニットの連結で、独自の方法を開発し、特許を取得」



CONTAINER BANK®



補足資料
ESG 関連

女性活躍推進

2018年

女性活躍推進の状況が評価され
厚生労働大臣より 「えるぼし」を認定

2019年

女性従業員の育児と仕事の両立支援のため
日・祝限定の託児所“Mori Kids” 開設

2020～2021年

女性活躍推進施策が評価を受け
経済産業省・東京証券取引所より 「準なでしこ」 銘柄に選定

2021年

子育て支援についての取り組み状況が評価され
厚生労働省より 「くるみん」 に認定

Esprit



健康促進活動

2018～2020年

従業員スポーツ活動の促進、部活動等の取り組みが
評価され、東京都より 「東京都スポーツ推進企業」 に認定

2019年

スポーツ庁より 「スポーツエールカンパニー」 に認定

2020～2021年

健康経営推進のための取り組みが評価され
経済産業省と日本健康会議より

「健康経営優良法人（大規模法人部門）」 に認定

Esprit





お問合せ先 株式会社エスクリ IR担当
東京都港区西新橋2-14-1 興和西新橋ビルB棟

URL : <https://www.escrit.jp/ir/>
E-mail : ir@escrit.jp

本資料に掲載されている事項は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
本資料に含まれる将来の予想に関する各数値は、資料作成時点で入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、
将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。